

芳田地区まちづくり行動計画

芳田地区区長会と芳田ふれあい会議が中心となって法太の里“ゆめ”委員会をもう一度立ち上げ、『法太の里“ゆめ”プラン2015』を見直し、たとえ人口減少・少子高齢化が進行しても、住民の絆を深め、芳田を元気にして、住民誰もが生き活きと暮らしていける芳田の里にしていくために、今後の芳田地区の指針となる『芳田地区まちづくり行動計画』を策定することとしました。

法太の里“ゆめ”委員会には39人が集まり、人口減少・少子高齢化が進行する中でこれから芳田地区は何をしていけばよいのかについて話し合いました。そして、話し合いの結果を『芳田地区まちづくり行動計画』としてまとめました。今後、芳田地区ではこの『芳田地区まちづくり行動計画』に基づいてさまざまな事業を展開していきます。

人口が減少し、行政組織も縮小していかざるを得ない今、行政がすべてをやってくれる時代ではありません。できることは自分たちで何とかすることが求められています。『芳田地区まちづくり行動計画』を実行していくに当たって、芳田地区のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願いします。



2019年(令和元年)12月
法太の里“ゆめ”委員会

■『芳田地区まちづくり行動計画』を実行していくために

- 『芳田地区まちづくり行動計画』を実行する組織として芳田自治協議会（仮称）を設立
 - ・芳田自治協議会（仮称）設立準備委員会の設置
 - ・役員・事務局体制の確立
 - ・各事業を担う実行組織の立ち上げ
- リーダーの育成



- 指定避難所にもなる新たなコミセンの建設
 - ・各種会議室、調理室、キッズスペース、学習スペース、談笑スペース、喫茶スペース、作品の展示スペース等がある複合施設にして芳田地区住民が気軽に集える場に
 - ・消防団が再編した時の消防団詰所を併設
- コミセン内に芳田自治協議会（仮称）事務局を設置
- コミセンにコンビニ誘致

■芳田の宝 芳田っ子がすくすく育つために

- 声かけ、あいさつ運動の展開
- 登下校時の見守り活動の充実
 - ・見守り隊の組織化等検討
- 通学路の整備、安全対策



- コミセン近くに子どもが遊べる公園の建設
- コミセンで各種教室を開設
 - ・母親教室、育児教室、親子体験教室、親子ものづくり教室
 - ・子どもを対象にした工作、絵、手芸等の教室
 - ・昔の遊びなどを伝承するような会
 - ・みなみ会と連携した夏休み教室の工夫

■いつまでも生き生きと暮らしていくために

- 声かけ、あいさつ運動の展開
- 見守り活動の充実
- 交流の場づくり
 - ・まちかどカフェ、高齢者と若い世代の交流、みぎわ園との交流等
- デマンド型交通の周知、利用呼びかけ
 - ・デマンド型交通の利便性確保と低料金化を行政に要請
- 福祉タクシー券サービスの充実を行政に要請
- 高齢者支援に関する学習会の開催



- 移動手段の充実
 - ・公共交通、デマンド型交通の充実
 - ・デマンド型交通+芳田地区内の周回交通検討
- コミセンを拠点にしたサークル活動の促進

■みんなで助け合って安心して暮らしていくために

- 各町区長（自主防災組織）、民生児童委員、消防団の連絡体制の確立
- 防災訓練の継続
- 芳田地区防犯学習会・交通学習会の継続
- 防犯灯の増設
- 防犯カメラの設置



- 防災に関わる各町間の連携・サポート体制の構築
- 指定避難所としてのコミセンを会場にした芳田地区合同防災訓練の実施
- 消防団の再編



■絆を深め、笑顔いっぱいの芳田になるために

- 芳田ふれあいまつりの継続
 - ・開催場所の再検討 マンネリ化解消
- 芳田ふれあいスポーツフェスティバルの継続
- 直売所ふれあいサロンの拡大



- コミセンを会場にした芳田ふれあいまつりの実施
- みぎわ園と共催でフェスティバルを開催
- コミセンで定期的な交流イベントの開催

■芳田に住んでいることに誇りを持てるようにするために

- 芳田の里花いっぱい運動の継続
- 芳田街道イルミネーションの継続
- 芳田クリーン作戦の継続
- 角尾山登山道整備の継続
- 芳田ふれあい直売所、夢うさぎの活動支援
- 野間川芳田公園の活用
- ギフチョウのアピール
- ネット、紙媒体による情報発信



- 芳田の山田錦、イチゴのブランド化
- 散歩コース、自然散策コースづくり
- 出会町のキャンプ場の活用



『芳田地区まちづくり行動計画』は今後の芳田地区の指針となるものですが、計画にないものは何もしないというわけではありません。計画は現時点で考えた取り組みを示したものです。今後、計画は常に見直していき、計画にはなくても、芳田地区が抱える課題を解決していく組織である芳田自治協議会（仮称）がめざす方向に沿うものであれば、どんどん取り込んで必要な予算もつけます。「芳田地区のみんなのためにこんなことをしたい」とどんどん声を上げてください。



芳田自治協議会 (仮称) を設立します！

芳田地区では、『芳田地区まちづくり計画の提案書・平成18年度版』を实践・推進する組織として、2006年8月に芳田地区区長会をはじめ芳田地区内の各種団体が結集して芳田ふれあい会議が結成されました。結成以来、芳田ふれあい会議では、芳田ふれあいまつり、芳田地区合同防災訓練、芳田の里花いっぱい運動、芳田ふれあい直売所ふれあいサロン、芳田街道イルミネーション、芳田ふれあいスポーツフェスティバル、芳田クリーン作戦等の事業を実施し、芳田地区のまちづくりの中核を担ってきました。しかし、芳田ふれあい会議の活動は交流・ふれあい、芳田の魅力づくりの分野が中心で、大規模災害時の対応、子育て支援、高齢者支援等の芳田地区が抱える課題を解決していく組織ではありません。

西脇市では、『西脇市自治基本条例』の中で「公共的団体として、民主的で透明性のある運営を行い、地域の課題を解決する」組織として地域自治協議会を設立することができます。そして、「市は、地域自治協議会の活動を尊重し、その活動に対して必要な支援を行うものとし、地域自治協議会の財源として地域自治一括交付金を交付することにしています。

すでに市内にはこの地域自治協議会を立ち上げている地区もあります。芳田地区も『西脇市自治基本条例』のめざす方向に沿い、芳田ふれあい会議に代わり、『芳田地区まちづくり行動計画』を実行し、芳田地区が抱える課題を解決していく組織として、新たに芳田自治協議会(仮称)を設立します。

【地域自治協議会のイメージ図】

